

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果および考察

大阪狭山市立南第一小学校

1. 本年度の全国学力・学習調査結果の学力の概要について

- 平均正答率の全国との比較では、国語は同程度の結果でした。算数は良好な結果でした。これは、本校が長年に渡って算数の加配教員を活用した取組みを進めてきた成果だと考えられます。
- 正答数が5割に満たない児童の割合は、国語は全国の傾向と同様に約20%で、課題が見られました。算数は、とても少ない状況でした。
- 国語は「話すこと・聞くこと」は概ねできていましたが、「読むこと」には課題が見られました。
- 算数は、「測定」、「変化と関係」、「データの活用」の領域について、相当数の児童ができていましたが、数と計算の領域の問題で、課題が見られます。
- 児童質問紙調査では、「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と思う児童が多いなど、話し合う活動について肯定的に捉えている児童が多くいました。一方、学校でのICT機器の活用や家庭学習の状況について、課題が見られました。

2. 各教科における成果と課題について

	成 果	課 題
国語	<ul style="list-style-type: none">• 「話すこと・聞くこと」の設問で、目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える問題は、多くの児童ができていました。• 漢字を文の中で正しく使う問題は、3問とも全て、全国平均を上回る結果でした。• 質問紙調査で「国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか」について、肯定的な回答は高い結果でした。	<ul style="list-style-type: none">• 「読むこと」の内容で、記述式で答える問題は、全国の状況と同様に、正答率が低かったです。• 文の中の主語と述語、修飾と被修飾の関係を捉える問題に課題がありました。• 質問紙調査で「国語の勉強は好きか」「授業の内容はよく分かるか」「授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うか」について、肯定的な回答は、全国平均を下回りました。
算数	<ul style="list-style-type: none">• 「測定」、「変化と関係」、「データの活用」の領域の問題は、多くの児童ができていました。• 記述式の問題は、4問とも全て、全国平均を上回る結果でした。• 質問紙調査で「公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている」について、肯定的な回答は高い結果でした。	<ul style="list-style-type: none">• 商が1より小さくなる等分除の場面で、正しく立式して計算することができていない児童が多く、課題でした。• 質問紙調査で「算数で学習したこと」について、「将来、社会に出たときに役に立つと思うか」「普段の生活の中で活用できないか考えるか」について、肯定的な回答は、全国平均を下回りました。

3. 成果と課題を踏まえた今後の取組みの方向性について

(1) 教職員の授業力向上

今年度は、「感じよう 学ぶ楽しさ わかる喜び」という校内研究のテーマのもと、教員の授業力向上と児童の学力向上に努めています。日常の授業において、児童が自分で文章を読み取り、自分の考えを書いて表すといった「個の学び」が充実するよう取り組んでいます。今回の結果からは、記述式の問題についても無解答率は低く、書こうとする意欲が高いことが感じられます。しかし、国語では、与えられた4つの条件を3つしか満たしていなかったため誤答になった児童が多い状況でした。このような課題を改善し、一人ひとりに求められる力を育むための授業づくりが必要です。

(2) 全教科における読み取る・書く活動の充実

学校全体で読む力と書く力の育成に取り組んでいます。読むことについては、音読、問いと答えの明確化、友だちの考えを取り入れる、の3つを充実させます。書くことについては、意欲の向上、書く機会の習慣化、評価やコメントの記載、ノート指導、の4つを充実させます。

(3) 地域とともにある学校づくりの推進

学習したことは、普段の生活の中で活用でき、自分や社会の将来のために役に立つという実感を高めることが大切です。そのためにも、家庭や地域との連携・協働による学習を通して、児童が家庭や地域の人々の思いに触れ、自分の生き方を考えていく教育活動を推進します。

4. 学力向上に関する現在の取組みと今後の改善について

(1) 校内研究の推進による取組みの充実

学校全体で校内研究に取り組んでいます。研究授業と研究討議会、実践の報告会や教員研修などを通して、日常の授業と取組みを充実させ、一人ひとりの児童に求められる力を育むことをめざしています。

日常の授業において、自分の考えや、めあてに対するふりかえりを書いたり、単元の最後に単元全体のふりかえりを書いたりといった取組みを、学校全体で行っています。書くことをいとわず、自分の言葉で的確に書ける児童が増えています。



読み取る力、書く力を高めるための取組みを、さらに進めていきます。求められている内容や条件を正しく読み取り、字数制限や条件付きでふりかえりや作文を書く活動を取り入れるなど、課題を改善するための取組みを充実させます。

(2) ICTの活用と家庭学習の充実

教員が日常的に授業の中でICT機器を使い、教材の提示などを行っています。児童は1人1台端末で、タブレットドリルを中心に使用しています。

また、年度当初に全教員で「一小スタンダード」を確認し、学習環境や授業の基本的な流れが学校全体でそろそろよう、共通理解を図っています。さらに、「家庭学習の手引き」や「自主学習ノートの作り方」などを配付し、家庭学習が充実するよう、取り組んでいます。

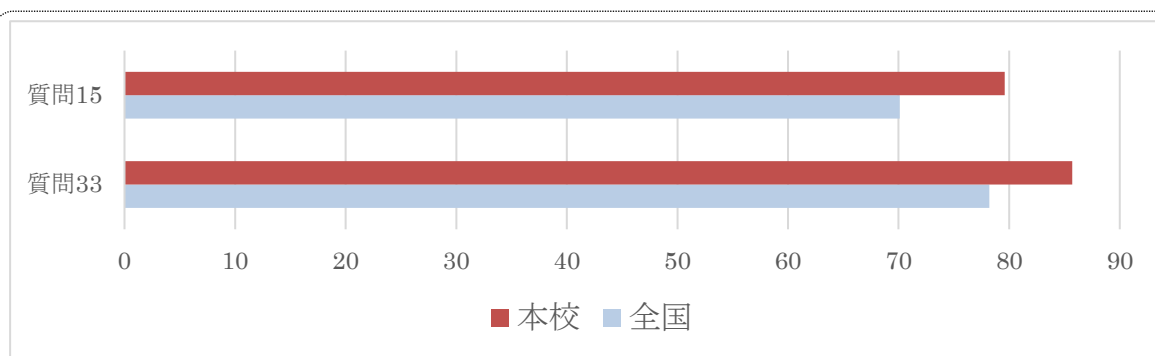


質問紙調査では、昨年度までは児童がICT機器を使う頻度が少ないという結果でした。今後は1人1台端末を使って自分の考えを書いたり、お互いの考えを交流したりするなど、児童が効果的に活用できるよう、取り組んでいきます。

家庭学習については、家で自分で計画を立てて勉強をしている児童は、全国平均よりも少ないという結果でした。家庭学習や自主学習について、教員間で実践を交流するなどして、充実できるよう取り組んでいきます。

5. 児童質問紙調査の結果の概要について（肯定的評価の割合）

〈取組みの成果があらわれていたり、特徴的であると思われる事項について〉

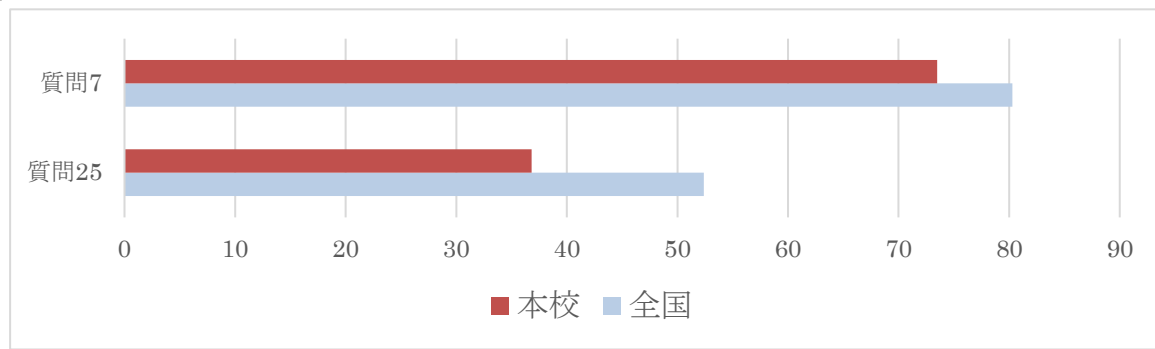


「15・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」（本校 79.6、全国 70.4）

「33・5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」（本校 85.7、全国 78.2）

本校の授業では、学習の課題について児童が自分で考え、その考えを伝え合って話し合い、深めていくことを大切にしています。今回の結果からは、このような授業について児童が肯定的にとらえていることがわかります。本校の児童のよさは、素直で前向きなところです。授業や取組みを通して、そのよさをさらに伸ばし、学力向上につなげていきます。

〈今後に向けて、課題と思われる事項について〉



「7・将来の夢や目標を持っていますか」(本校 73.5、全国 80.3)

「25・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」
(本校 36.8、全国 52.4)

何となく学習するよりも、目的を持って学習する方が意欲的に取り組めて、求められる力を身に付けることができます。また、自分たちの学校や地域をよくするための活動を経験することが、自分への自信につながり、将来の自分を意識できるようになります。

児童が意欲的に取り組めるよう、各教科の学習が今の社会とつながっていることや、将来の自分にとって役に立つことを児童が実感できるよう、授業づくりを進めていきます。そして、学級や学校、地域をよりよくするための活動を、大切にしていきます。

6. 保護者・児童のみなさんへ

国語の授業を通じて、言葉の力や伝え合う力、考える力や想像する力が養われます。これらの力を高めることは、今の生活だけではなく、将来の生活も豊かにします。それは、人との関わりが広がり、深まっていくからです。

人と人が直接会ったり、電話をしたりするときは「話す力、聞く力」を使って、手紙やメールなどでは「書く力、読む力」を使ってコミュニケーションを図ります。また、考える力や想像する力はどちらの場合でも必要です。これらの力を使うことで、人とつながり、支え合っていくことができます。買い物をしたり、取扱説明書を見て電気製品を使ったりするときも、もちろん仕事をするときも言葉の力が必要です。今の自分と将来の自分のためにも、国語を大切にしていましょ。

今回の調査では、6年生のみなさんは、求められていることに対して自分の考えを一生懸命に書こうとしていました。とてもすばらしいことです。しかし、4つの条件に対して3つしか満たしていない解答が多く、惜しかったです。学習においても生活においても、自分に求められていることを読み取り、それに答えていましょ。

算数は、全体的によくできていました。しかし、「8人に4Lのジュースを等しく分けるときの1人分の量」を求める式を、「 $8 \div 4$ 」としている人が多かったです。みなさんは、正しく答えられる力を持っているのに、反射的に答えて間違えてしまったのだと思います。人生においても、「おいしい話だと思って飛びついたら、詐欺だった。」ということがあるかもしれません。何事も、一度立ち止まってじっくりと考えて、結論を出していましょ。

保護者のみなさん、一人ひとりの子どもに求められる力を育てていくためには、学校と家庭の信頼関係、協力関係が大切です。子どもたちの明るい未来のために、今後とも、よろしくお願ひします。